

国語科学習指導案

日時：令和5年6月15日（木）3校時

学級：第3学年5組30名

場所：3年5組教室

授業者：

指導教諭：

1. 身につけさせたい力

- ・日本の伝統的な文芸である俳句に親しみ、そこに詠まれた情景を理解する力。
- ・自分が日々の生活で感じたことを、俳句という形で表現する力。

2. 単元名：「俳句の可能性」『国語 3』（光村図書）

3. 単元について

（1）単元の目標

- ・俳句の特徴と基本的な約束を理解することができる。

【知識及び技能】(3) ア

- ・季語や切れ字などに留意しながら俳句を読み味わうことができる。

【思考力・判断力・表現力】D (2) イ

- ・情景が相手に伝わるよう表現の仕方を工夫しながら、俳句を作ることができる。

【思考力・判断力・表現力】C (1) ウ

- ・自分自身が日々の生活の中で感じたことを、俳句で表現しようとする。

【思考力・判断力・表現力】C (1) ア

- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

（2）教材観

俳句は、五・七・五の一七音で表現する日本独自の短詩型文学であり、世界にも「HAIKU」として知られている。本単元では、実際に俳句とその鑑賞文を読むことで、俳句の特徴やきまりを学び、また、作者のものの見方や感じ方にふれることができる。さらに、実際に自分で俳句を作ることで、自分自身の感性を育てることができる教材である。

(3) 生徒観

男子 15 人、女子 15 人、計 30 人のクラスである。授業中は積極的に手が上がり、授業参加に対しては概ね意欲的である。また、クラス仲も概ね良好といえる。前年度に短歌について学習しており、日本の伝統的な韻文には触れたことがある。さらに、俳句についても、「5・7・5」の十七音で構成されることは理解しており、一定の知識があるものと考えられる。加えて 授業内では 課題に取り組む際にも近くの席の生徒同士で話し合いをしており、全体的に学習意欲の高いクラスだといえる。とはいえ、自然と話し合いをしながら進めている生徒は一部であり、中には WS への書き込みに積極的でない生徒も存在する。そういった授業参加に消極的な生徒へのフォローが課題である。

(4) 指導観

本単元では、宇多喜代子の随筆を通して、俳句の基本的な約束やきまりを理解することが必要である。また、第三次では実際に俳句を作る活動を行うため、俳句に特有の季語、切れ字などの表現技法を理解しておくことが求められる。そのため、基本事項や表現技法を丁寧に解説した上で本文や本文中の俳句の読解に臨み、筆者の俳句に対する考え方やそれぞれの俳句に詠み込まれた情景を想像し、鑑賞できるよう指導したい。また、第三次における実際に俳句を作る活動では、筆者もいうように「気軽」な感覚で「自由」に作れるような指導を行いたい。

4. 本単元における言語活動

- ・それぞれの俳句に詠まれた情景について、どの写真が一番しっくりくるか選び、その理由を話し合っグループの一位を決める。
- ・シンキングツールを利用して考えを広げながら、俳句を作る。

5. 単元の評価基準

A 知識及び技能	思考力・判断力・表現力			E 主体的に学習に取り組む態度
	B 話すこと・聞くこと	C 書くこと	D 読むこと	
①俳句の特徴ときまりを理解している。 ②俳句の表現技法に着目し、鑑賞できる。	①俳句作品を読んで感じたことや考えたことを、自分の言葉で伝え合うことができる。 ②自分の考えを明確にし、相手に伝わる	①俳句作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを筋道の通った文章で表現することができる。 ②日常生活の中で感じたことをもとに俳句を作り、自分の体験を他者	①表現技法に留意しながら俳句作品を読み、情景をとらえることができる。	①日常生活の中で感じたことを題材にして俳句を作ることができる。

	よう工夫して話すことができる。	に伝えることができる。		
--	-----------------	-------------	--	--

6. 単元の計画（総時間 三時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価基準
一	1	○俳句の基本事項と約束を確認する ○本文中の五つの俳句を読む	・定型や季語、切れ字について確認させる。	・[知識・技能] 観察 [知識・技能] WS
二	2	○本文中の五句について、どういう情景が詠まれているか考える ○「俳句の可能性」について考える	・それぞれの俳句について三枚の写真を示し、その中でどれが一番しっくりくるか考えさせ、その理由を書いてもらい、話し合っグループの一位を決める。 ・「いくたびは……」の句について「切れ字」の補足説明	[思考・判断・表現] B① 観察・WS [思考・判断・表現] C①・D①
三	3	○俳句の題材を考える ○実際に俳句を作ってみる ○清書用の俳句を選ぶ	・日常生活のことから連想してもらおう。 ・机間巡視し、連想できているか確認する。 ・机間指導を行い、適宜サポートする。	[主体的に学習に取り組む態度] 観察 [思考・判断・表現] C② 観察、ロイロノート

7. 本時案（第三次 第3時）

(1) 本時の目標

- ・情景が相手に伝わるよう工夫しながら、俳句を作ることができる。

【思考力・判断力・表現力】(1)ウ

- ・自分自身が日々の生活で感じたことを、俳句で表現しようとする。

【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 本時の展開

※単元の目標を達成するために指導計画を示す。

時間	学習活動	指導上の留意点	評価基準
導入 (5分)	○前時までのふりかえり ○めあての確認	○これまで俳句の表現技法を学び、俳句に詠まれた情景について考えてきた。また、俳句の可能性が「自由に解釈できるところ」と確認してきた、と振り返る。	
本時のめあて：情景が相手に伝わるよう工夫しながら、日々の出来事を題材に俳句を作ることができる。			
展開 (35分)	○俳句の題材を考える ・どの季節の俳句を作りたいか考え、「くまでチャート」で連想する ・ロイロノートで「くまでチャート」を配布。実際の例を出して説明 ○実際に俳句を作ってみる ・評価基準の説明をする（有季定型・身近な日常の風景を詠む・含みを持たせる+表現技法を用いる） ・連想したことをもとに、俳句を一つから三つ作ってもらおう。作った俳句はロイロノートの二枚目のカードに記入。そこから一句選び、以下の三点について記述させる。	○日常生活のことから連想してもらおう。「くまでチャート」の作成例を示しながら説明。 ○pptで評価基準を示す。 ○季語はロイロノートのWebカードにあるURLから調べるよう指示し、カードを配布。 ○机間指導を行い、適宜サポートを行う。一つの季語に対して、時間帯などを聞き、イメージをふくらませていく。	[思考・判断・表現] C② 観察、ロイロノート [主体的に学習に取り組む態度] 観察

	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準に合わせて、その俳句を選んだ理由 ・どんな情景を詠んだか ・どこに含みを持たせようとしたか 		
まとめ (5分)	○本時のまとめ	○改めて評価基準を示し、一つずつ照らし合わせて、自分の選んだ俳句が有季定型になっているか、などと確認する。また、それを満たすことが自分の俳句に「可能性」を与えることを説明。	

8. 板書計画

<p>教 p70-</p> <p>俳句の可能性</p> <p>宇多喜代子</p> <p>めあて：情景が伝わるように工夫しながら、日々の出来事を題材に俳句を作ることが出来る。</p> <p>☆評価のポイント</p> <p>①有季定型になっているか</p> <p>②身近な日常の風景を詠んでいるか</p> <p>③読み手が自由に想像できるように含みを持たせているか</p> <p>+</p> <p>工夫して表現技法を用いているか</p>

9. 準備物等

教科書、教師用 PC、生徒用 PC

教 p.70 | p.73 **3/3**

「俳句の可能性」
宇多喜代子

単元のめあて

- ・俳句の基本事項や約束を理解することができる。
- ・季語や切れ字などに留意しながら、俳句を読み味わうことができる。
- ・情景が相手に伝わるように表現の仕方を工夫しながら俳句を作ることができる。
- ・自分自身が日々の生活の中で感じたことを、俳句で表現しようとする。

1

教 p.70 | p.73 **2/3**

「俳句の可能性」
宇多喜代子

本時のめあて

- ・情景が相手に伝わるよう工夫しながら、日々の出来事を題材に俳句を作ることができる。

2

本時の流れ

01 俳句の題材を考える

02 実際に俳句を作ってみよう

03 まとめ

3

01 俳句の題材を考えよう。

使うもの

- ・ロイロノート
- ・くまでチャート

①どの季節で俳句を作りた
いか考えよう。

②くまでチャートを使って
連想し、俳句を考えてみよう。

ロイロノートを参照

4

本時の流れ

01 俳句の題材を考える

02 実際に俳句を作ってみよう

03 まとめ

5


02 実際に俳句を作ってみよう。

作業の流れ

- ① 俳句を一つ〜三つ作る
- ② 清書する俳句を選び、「どのような情景を詠んだのか」、「どこに含みを持たせようとしたか」をロイロノートのカードに記入
- ③ 専用の紙に選んだ俳句を清書する

ロイロノートを参照

6

02 

実際に俳句を作ってみよう。

評価のポイント

- ① 有季定型になっているか
- ② 身近な日常の風景を詠んでいるか
- ③ 読み手が自由に想像できるような含みを持たせているか


+


工夫して表現技法を用いているか

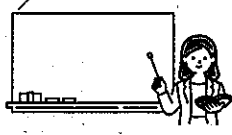
ロイロノート
を参照

7

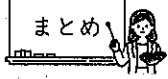
本時の流れ

01  俳句の題材を考える

02  実際に俳句を作ってみよう

03  まとめ

8

03 

提出の前にチェックしよう！

- ① 有季定型
- ② 身近な日常風景を題材にしている
- ③ 含みを持たせている

+

工夫して表現技法を用いているか

↓自分の作った俳句に「可能性」を持たせられているか

ロイロノート
を参照

9

国語科学習指導案

授業者：

1. 対象：第3学年1組
2. 日時：2023年6月12日
3. 場所：3年1組教室
4. 単元名：俳句に表現された情景を想像しながら、俳句を読み味わうことができる。
「俳句の可能性」(光村図書)
5. 本時の目標
 - ・俳句に表現された情景を想像しながら、俳句を読むことができる。

【思考力・判断力・表現力】(1)ウ

6. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価基準
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時のふりかえり ○簡単に基本事項の確認テストを行う(回答4分、解説4分) ○めあて・課題の確認 		
<p>本時のめあて：俳句に表現された情景を想像しながら、俳句を読むことができる。</p> <p>本時の課題：「俳句の可能性」とは何のことでしょう。</p>			
展開 (36分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本文音読 <ul style="list-style-type: none"> ・隣同士(欠席者がいる場合は前後で三人)で交互に音読する。(10分) ○本文中の五句について、ど ういう情景が詠まれているか 考える。(25分) 個人：4分	<ul style="list-style-type: none"> ○机間巡視をしつつ、クラス 全体の様子を確認 ○早く終わった生徒には、筆 者の俳句についての考え方が 書いてある部分を探すよう 指示 ○それぞれの俳句について 写真を三枚ほど示し、その中 でどれが一番しっくりくる か選んでもらい、その理由を 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣同士や三人で音読 ができています。

	<p>グループ：7分 共有：10分</p> <p>◎発問:それぞれの俳句には、どんな情景が詠まれているだろう。</p> <p>個人でWSに書き込む→五人グループを作って、話し合い→多数決（アンケート）</p> <p>○「俳句の可能性」について考える（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を簡単に確認（穴埋め形式のWSを用意） 	<p>書く。写真はppt、ロイロノートの双方で掲示</p> <p>○机間巡視、どんな意見が出てきているか確認</p> <p>○一位ではないものも、多くの考え方があることを指摘し、こんなふうにはたくさんの読み方、解釈の仕方があること→「俳句の可能性」と説明（空いているところにメモしておくよう指示）</p> <p>○「いくたびも……」の句について、「切れ字」の補足説明（こういうふうには、含みを持たせる効果があるよね、と確認）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情景を想像しながら、個々人でWSに書き込みができています。 ・グループで意見交流ができています。 <p>・WSに書き込んでいる</p>
<p>まとめ</p>	<p>○五句がどういう情景について読んだものか再度確認。また、WSにまとめた内容から、筆者の言う「俳句の可能性」を確認する（4分）。</p> <p>○次回予告</p>	<p>○次回は実際に俳句を作っていくことを伝える。また、次回はロイロノートを使うので、その用意をしておくよう伝える。</p>	

7. 板書計画

<p>教 p.70-</p> <h3>俳句の可能性</h3> <p>宇多喜代子</p> <p>① それぞれの俳句に詠まれた情景について考えよう。</p> <p>② 「俳句の可能性」について考えよう。 一つの俳句でも、読み手によって多くの解釈の仕方がある。</p> <p>☆散文や報道記事との違い</p> <ul style="list-style-type: none">・省略されている部分を、読む人の（自由な解釈）で補って鑑賞できるところ。↓あえて書かないことで、表現の（可能性）を広げる <p>☆俳句に対する筆者の思い</p> <ul style="list-style-type: none">・身近なものに関心を持ち、（気軽）な感覚で（自由）に俳句を作ってほしい。
--

8. 準備物等

教科書、WS、電子黒板

俳句の可能性 ②

三年（ ）組 名前（ ）

本時のめあて：俳句に表現された情景を想像しながら、俳句を読むことができる。

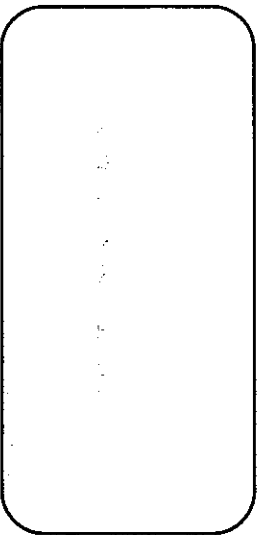
① それぞれの俳句について、どんな情景が詠まれたものか考えてみよう。

○どの子にも涼しく風の吹く日かな

○いくたびも雪の深さを尋ねけり

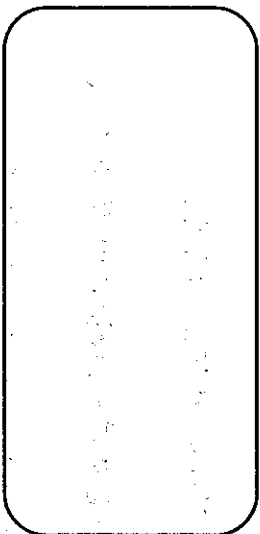
・写真：

・その写真を選んだ理由



・写真：

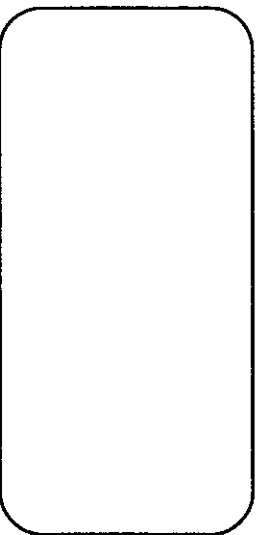
・その写真を選んだ理由



○跳箱の突き手一瞬冬が来る

・写真：

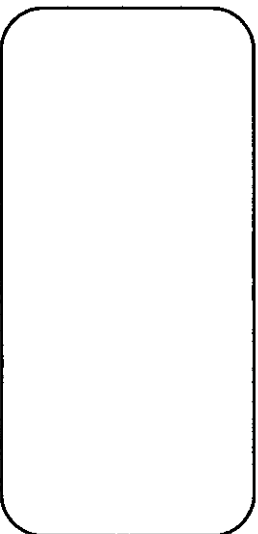
・その写真を選んだ理由



○たんぼぼのぼぼと絮毛のたちにけり

・写真：

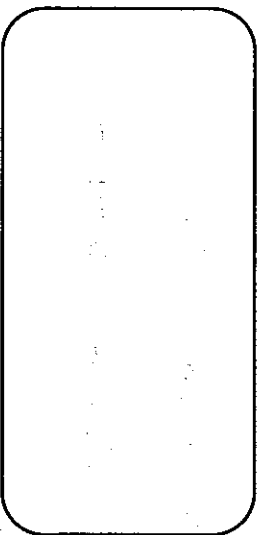
・その写真を選んだ理由



○分け入っても分け入っても青い山

・写真:

・その写真を選んだ理由



② 「俳句の可能性」について考えよう。

☆散文や報道記事との違い

・省略されている部分を、読む人の

()で補って鑑賞できるところ

↓あえて書かないことで、表現の()

()を広げる

☆俳句に対する筆者の思い

・身近なものに関心を持ち、()

()な感覚で()

()に俳句を作ってほしい。

俳句の可能性 小テスト

三年（ ）組 名前（ ）

①に当てはまる語句を語群から選び、書きなさい。同じ数字には、同じ言葉が入り
ます。

・俳句には、五・七・五の①と季節を示す②を用いるという③という約束があ
る。

・②がまとめられた本のことを④という。

・句の切れ目に使う言葉を⑤といい、代表的なものに⑥がある。

・五・七・五の①にとられない音律の俳句を⑦という。また、①のない
俳句を⑧という。

【解答欄】

⑦	④	①		
⑧	⑤	②		
			⑥	③

【語群】

歳時記・有季定型・無季俳句・切れ字・や、かな、けり、ぞ・季語
定型・自由律俳句

国語科学習指導案

授業者

1. 対象：第3学年4組
2. 日時：2023年6月8日（木）
3. 場所：3年4組教室
4. 単元名：俳句の基本事項や約束を理解し、俳句を鑑賞するための準備ができる。
「俳句の可能性」（光村図書）
5. 本時の目標
 - ・俳句の特徴と基本的な約束を理解することができる。

【知識・技能】(3)ア

6. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価基準
導入 (8分)	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶 ○10minutes ボックスの動画を視聴する（～2分） ○「松尾芭蕉って聞いたことある人いますか？」 ・手を挙げてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ○途中で寝てしまう生徒には、机間巡視をしながら声をかける。 	
展開 (25分)	○本時の目標、課題の提示		
	<p>本時のめあて：俳句の基本事項や基本的な約束を理解し、俳句を鑑賞するための準備ができる。</p> <p>課題：「俳句の基本的な約束」とは一体何のことか。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書範読 ・範読を聴く際のポイントを示す 以下二点に注目して読むよう指示 ・筆者の俳句に対する考え方 ・変わった表現のしかただな、と思った部分 ○俳句の基本事項と約束を確認する ・「季語」「有季定型」「歳時記」 	<ul style="list-style-type: none"> ○読み方がわからない漢字にはふりがなを振るよう指示する。 ○机間巡視を行いつつ、全体の理解度や進捗状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、漢字にふりがなを振れている。 ・WS にそれぞれの意味を書き込んでいる。

	<p>「切れ字」「自由律俳句」「無季俳句」のそれぞれの意味をWSで確認する</p> <p>○本文中の五つの俳句を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WSを用いて、一句ずつ、定型に区切る→季語を確認する →切れ字の有無を確認する ・まずは個人で取り組み、その後、隣や前後の席の生徒同士で答えがどうなったか話し合う。 	<p>答え合わせはpptで行う。</p> <p>○個人作業に入る前に、簡単に定型・季語・切れ字について再確認する</p> <p>○机間巡視を行いつつ、全体の理解度や進捗状況にあわせて適宜ヒントを出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定型、季語、切れ字を自分で確認できる。 ・近くの席の生徒と話し合いができています。
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○教員によるWSの答え合わせ</p> <p>○次回予告</p>	<p>○板書で示し、各自で答え合わせをしてもらう。</p> <p>○ここまで見てきた五句について、次からはその内容を考えていくことを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・WSに書き込みや答え合わせができています。

7. 板書計画

<p>分け入つても分け入つても青い山 () 句切れ</p>	<p>たんぽぽのぽぽと絮毛のたちにはけり () 句切れ</p>	<p>跳び箱の突き手一瞬冬が来る () 句切れ</p>	<p>いくたびも雪の深さを尋ねけり () 句切れ</p>	<p>どの子にも涼しく風の吹く日かな () 句切れ</p>	<p>・五つの俳句を読む</p>	<p>問い 「俳句の基本的な約束」とは何のことですか？</p>	<p>教 p70— 俳句の可能性 宇多喜代子</p>
------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	------------------	---------------------------------	------------------------------------

8. 準備物等

教科書、WS、電子黒板

俳句の可能性

三年()組 名前()

本時の課題：「俳句の基本的な約束」とは何のことでしょう。

① 俳句の基本事項と約束を確認しよう。

・ 俳句の基本的な約束

一句の柱となる言葉に () を用い、それを五・七・五という

() () で表現すること。 Ⅱ

・ 俳句の基本事項

季語……季節を示す語。五・七・五の定型とともにさまざまな想像をかき

たてる句の中の ()

() 役割を果たす。

歳時記……季語がまとめられた本。解説や例句も付いている。

切れ字……句の切れ目に使う言葉。定型の中では () () こと

を () () する働きをする。

自由律俳句……五・七・五の定型にとらわれない、() () の俳

句。

無季俳句……季語のない俳句。

② 五つの俳句を読んでみよう。

☆定型に区切って、季語には線を引きながら読もう。切れ字を見つけたら丸で囲み、何句切れか書こう。

どの子にも涼しく風の吹く日かな

() 句切れ

いくたびも雪の深さを尋ねけり

() 句切れ

跳箱の突き手一瞬冬が来る

() 句切れ

たんぽぽのぽぽと絮毛のたちにけり

() 句切れ

分け入つても分け入つても青い山

() 句切れ